

『ラムネひんやりの理由』

この前ラムネを食べたとき、口の中がひんやりと冷たくなる感覚がありました。調べてみると、ラムネに含まれている成分が水分と反応して溶けるときに、口の中の熱を奪う「吸熱反応」が起こり、冷たく感じるそうです。

中学2年生の理科の授業で吸熱反応と発熱反応について学びました。薬品を使った実験などでは感じられなかった吸熱反応が、ラムネの中にもあると知って、驚きました。理科の内容は教科書や理科室の中だけのものというイメージがありましたが、身近なお菓子にも関係していると分かり、理科がぐっと近くに感じられました。

これからは、日常の中に理科で学んだことが生かされている場面を見つけながら、身の回りのことにもっと興味を持って過ごしたいと思います。

3年生 Y・A （2025. 8. 29 東京新聞）